

<申請書（様式（甲））の記載例（許可申請書（協議書）各条共通）>

様式（甲）

許 可 申 請 書 協 議 書	← 国等の場合
(文 書 番 号) 令和 年 月 日	
青森県知事 殿	
申請者：郵便番号 住 所 氏 名 電話番号	
別紙のとおり河川法第24条の許可を申請します。	
別紙のとおり河川法第24条に関し、同法第95条の規定に基づき協議します。	← 関連する根拠条文をすべて記載すること。 ← 国等の場合（「協議」）

備 考

- 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

<法24条のみの場合（工作物の新築等を含まない占用の場合）の記載例>

様式（乙の2）

(土地の占用)		水系名及び河川名を明記すること。
1 河川の名称	○級河川 ○○川水系 ○○川	
2 占用の目的及び態様	公園建設のため ○○河川敷公園 (許可期間の更新の場合は、「工作物の構造又は能力を併記すること。)	運動場、緑地、公園等使用する目的を記載し、更に施設の名称を記入すること。 許可期間の更新の場合は、「工作物の構造又は能力」を記載すること。
3 占用の場所	自：○○市○丁目○番地先 至：○○市○丁目○番地先	地番又は地先まで明記すること。なお、占用が左右岸にまたがる場合は、左右岸に分けて記載すること。
4 占用面積	○○○.○○㎡	
5 占用期間	許可の日から○年○月○日まで (同意の日から○年○月○日まで)	面積計算は㎡を単位とし、原則として三斜法により小数点第3位まで求積計算し、合計面積は小数点以下第3位を切捨てて記載すること。
国等の場合 (「同意」)	当該占用の目的形態を考慮して、必要最低限の期間を記載すること。(期間については、10年を最長とするが、国又は地方公共団体以外の場合は、最長5年で申請するよう指導すること。) 一時的な占用以外の占用については、更新時の事務処理を考慮し、○年3月31日までとすること。	

備考

- 「占用の目的及び形態」については、田、畑、運動場、公園等を設置するため使用する旨を記載し、さらにその使用方法の概要を記載すること。
- 許可を受けた事項の変更の許可にあつては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。